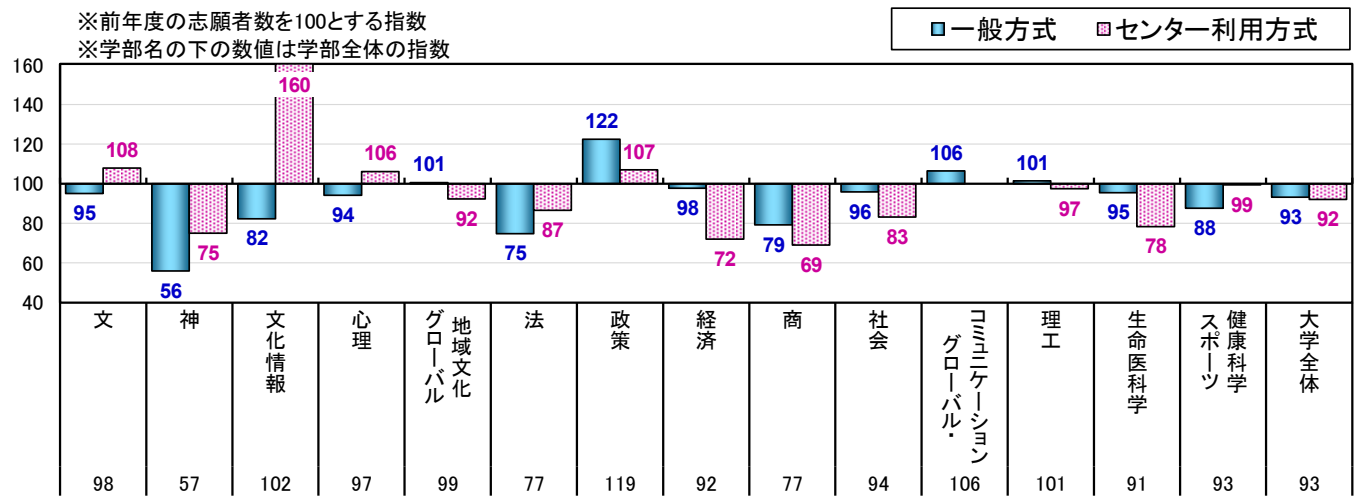


2020年度入試状況分析【私立大】

同志社大：大学全体では2年連続減少、政策は大幅増加 一般：-2,917人 センター：-888人



入試変更点 学科名称：理工(エネルギー機械工)→(機械理工)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、3,805人(93)のやや減少で2年連続減少となり、志願者数は2015年度以来5年ぶりに5万人を下回った。方式別では、一般方式(93)はやや減少で2年連続減少、センター利用方式(92)は2年ぶりに減少。学部別では、政策(119)は大幅増加したが、系統への人気低下している法(77)、商(77)などは大幅減少。

<一般方式>

- 文(95)は、やや減少で2年連続減少。学科別では、(哲)(127)は大幅増加したが、他の4学科は減少。
- 文化情報(82)は、2年連続大幅減少。方式別では、<学部理系>(152)、<全学理系>(140)が大幅増加、<学部文系>(61)、<全学文系>(66)は大幅減少と文理で対照的。
- 心理(94)は、2年連続やや減少。3方式とも減少。
- 法(75)は、系統への低人気から大幅減少で2年ぶりに減少。2学科とも減少し、特に(政治)(52)は前年度大幅増加の反動でほぼ半減。
- 政策(122)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 経済(98)は、系統への低人気から前年度大幅減少の反動はなくやや減少。
- 商(79)は、系統への低人気から大幅減少で2年連続減少。2コースとも減少し、特に(商/商学総合)(77)は2年連続大幅減少。
- 社会(96)は、やや減少で2年連続減少。学科別では、(教育文化)(79)、(社会)(84)はいずれも大幅減少。
- グローバル・コミュニケーション(106)は、やや増加で前年度の反動による増減が継続したが、前年度大幅減少の反動は小さかった。コース別では、(グローバル・コミュニケーション/中国語)(188)が激増。
- 理工(101)は、微増で3年ぶりに増加。学科別では、(エネルギー機械工)から名称変更の(機械理工)(125)は2年連続大幅増加。(数理システム)(121)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。(インテリジェント情報)(96)はやや減少で、5年ぶりに減少。
- 生命医科学(95)は、やや減少で3年ぶりに減少。学科別では、唯一減少の(医工)(77)が大幅減少で2年連続減少。
- スポーツ健康(88)は、2年ぶりに減少。

<センター利用方式>

- 文(108)は、2年連続増加。学科別では、(文化史)(92)のみ減少。(哲)(137)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(英文)(115)は2年連続大幅増加。
- 文化情報(160)は、大幅増加で2年ぶりに増加。2方式とも大幅増加で、特に<セ・A方式>(196)はほぼ倍増。
- グローバル地域文化(92)は、2年ぶりに減少。3コースとも減少。
- 法(87)は、2年ぶりに減少。2学科とも減少し、特に(政治)(82)は大幅減少。
- 政策(107)は、やや増加で2年ぶりに増加。
- 経済(72)は、系統への低人気から大幅減少で2年連続減少。
- 商(69)は、3年連続増加の反動で大幅減少。
- 社会(83)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。5学科とも前年度と逆の増減で、(社会福祉)(450)は激増、(社会)(135)は大幅増加。一方で、(メディア)(20)は激減、(産業関係)(41)、(教育文化)(74)は大幅減少で、いずれも前年度激増の反動。
- 理工(97)は、前年度大幅増加の反動は小さく、やや減少に留まった。学科別では、(機械システム工)(119)、(インテリジェント情報)(117)がいずれも2年連続大幅増加。一方で、(電気工)(95)はやや減少で5年連続減少。(エネルギー機械工)から名称変更の(機械理工)(88)は前年度激増の反動で減少。
- 生命医科学(78)は、3年連続増加の反動で大幅減少。3学科とも減少し、特に(医情報)(65)の大幅減少が目立った。